

令和7年度 大庭幼稚園 園評価結果 (職員・保護者及び関係者評価記述) ⇒ 令和8年度に向けて

項目ごとに4段階で回答していただきました。

A:よくあてはまる 3点 B:だいたいあてはまる 2点 C:あまりあてはまらない 1点 D:あてはまらない 0点

とし、項目ごとに平均点を算出し、以下の判定基準で評価判定しました。

- A:適切だと思われる …評価数値2.4以上(達成率80%)
- B:概ね適切だと思われる …評価数値1.8~2.3
- C:あまり適切だと思われない …評価数値1.2~1.7
- D:評価や改善策の見直しが必要 …評価数値1.1以下

	No.	質 問	職 員	※保 護 者	C の 数
保育内容・学級経営	1	子どもは、幼稚園に行くのを楽しんでいますか。	2.5A	2.7A	
	2	子どもは、自分のしたい遊びを見つけて楽しく遊んでいると思われませんか。	2.5A	2.7A	
	3	子ども一人一人に応じたきめ細やかな指導・援助がなされていますか。	2.7A	2.7A	
	4	教育内容を工夫していますか。(園庭の環境をいかした遊び、田んぼの活動や園外保育、異年齢で一緒に遊ぶなど)	2.7A	2.8A	
行事安全	5	行事は、年間を通して様々な体験ができるように工夫されていますか。	2.7A	3.0A	
	6	安全な生活がおくれるように配慮していますか。	3.0A	2.5A	
環境	7	施設や設備は整備され、有効に活用されていますか。	2.3B	2.1B	2
	8	幼児の生活にふさわしい環境になるように工夫していますか。	2.7A	2.6A	
連携	9	園だより・学級だより、保護者会などで活動の様子や教育方針等を分かりやすく伝えていきますか。	2.5A	3.0A	
	10	文書や連絡など(掲示物、スクールメールなど)は、分かりやすく適切ですか。	2.5A	2.9A	
	11	登園やお迎えの時の担任との情報交換、れんらくちょうなどにより家庭との意思疎通を図っていますか。	2.7A	2.7A	
職員	12	協働体制であり、安心して職務に専念できる職場でしたか。	3.0A		
	13	教育公務員としての自覚をもち、研修・研究に務め実践にいかすことができましたか。	2.7A		

◎職員評価記述

- ・(園経営・教育課程・職員連携等全般)
 - ・一人一人の個性を大事にした保育を職員みんなで協力して行うことができた。平素より、職員間で幼児理解、情報共有がなされているからだと思う。
 - ・困ったこと等を周りの職員に相談しやすい雰囲気であった。また、日ごろの保育についてや指導案作成等では、丁寧な指導をしていただきとてもありがたかった。
 - ・教育課程については、同年齢のこどもたちとの交流の機会が少なかった(天候不良や感染症流行ので中止となったため)ことが残念だった。小規模園である以上人のかかわりに関わる活動については、フォローする活動が入れられるよう工夫すべきだった。
 - ・保育に関しては、もっと地域の環境を活かした保育や一人一人の実態に応じた支援(言葉かけや環境)を心がけていきたい。また、自分のしたい遊び(見つけた遊び)の充実を考えていきたい。
 - ・今年度は、中堅教員等資質向上研修を受講し、研究を進めていく中で職場環境の良さを改めて感じた。職員室が一つのため気軽に声をかけたり、相談したりできる環境にあるのも園長先生や教頭先生のおかげだと思っている。安心して業務にあたることができた。
- ・(保護者連携)
 - ・こどもたちの園生活に対する期待感や充実感については、保護者への啓発が大切だと感じている。日頃より丁寧なコミュニケーションや情報発信に努めてはいるが、もっと研修して得られた知識や情報を活かしたり、教育のねらいや内容についてわかりやすく伝えたりする工夫は必要だった。

- ・（幼児教室）
 - ・来年度の幼児教室の受け入れについては、休園の可能性も視野に入れながら保護者に丁寧な説明をしていく必要を感じている。
- ・（環境）
 - ・施設の古さは仕方のないことだが、安全第一にかつこどもたちに経験させたいことを考え、環境を工夫することもできた。

◎保護者自由記述

- いつも丁寧に細かく様子を見てくださってありがたかったです。少人数の良さは存分に生かされていたように感じましたが、こども自身にも活動の物足りなさはあったようです。他園との交流保育がもう少し回数が増えるといいなあと思いました。
- 一人一人に寄り添った保育をしてくれている。
- 登園、降園時にどの先生もこどもの様子をよくお話して下さるので園での生活の様子が分かりありがたく思います。コドモン等で日々の写真をアップして下さると嬉しいです。
- 自然環境の中で様々な活動や地域の方とのふれあい、食楽の会など大庭幼稚園らしい体験活動をさせてもえられています。いろんな活動、行事を通してこどもの「やってみたい」と思える興味・関心が増えていると思います。親としてとてもうれしく思います。
- 行事が多く、こどもの様子をたくさん見られるのはうれしいですが、仕事が休みづらい時もあります。1か月に2回休むのは少し難しい時もあるので、1日で二つできることがあればまとめてもらえると嬉しいです。
- 幼小で同一参観日にするのは避けてほしい。
- 検温表は必要なのか。
- 月1回でいいので玄関に着替え袋をもってきて点検できる日を作ってほしい。保育室への出入りが気軽にできないし、なかなか時間がないので。
- 運動会、発表会である程度席を配置していただければ、あとは自由なスペースを作ってほしい。少人数なのに窮屈だった。

◎園関係者評価記述

【良好な点】

- ・令和7年度のアンケートにおいて、職員・保護者のみなさんが、施設の整備について共に「B」評価としておられるほかは、すべて「A」評価としておられる。このことから、職員・保護者のみなさんの共通認識やコミュニケーションが、より良い状態にあることが伺える。
- ・異年齢混合の環境の中で、先生方は園児の発達や特性に応じた保育活動を実践しておられる。「げんきもりもりうんどうかい」や「なかよしおおぼっこの会」などにおいて、園児達が声を出して協力し合う姿が見受けられる。日々の先生方の指導の成果の表れであると思われる。
- ・園内の畑で栽培している大根やスナップエンドウなどを収穫して、おにぎりの日やおでんの日に調理していただくなど、食育にも力を注いでおられる。
- ・地域の自然環境や人的資源を活用し、田んぼの活動(かもすの会)・大庭公民館ふたば学級・大庭小学校・地域の保育園等との交流を積極的に進めている。
- ・令和10年度の古志原幼稚園との統合を見据えて、交流会を実施している。

【課題点】

- ・次年度の園児数が減少する中で、これまでの活動が縮小していくことが懸念される。少ない園児数でも、様々な活動や経験が出来るよう工夫をしていただきたい。
- ・令和10年度の古志原幼稚園との統合は誠に残念なことであるが、交流会等を増やすなどして、円滑な移行に向けて努力していただきたい。

園の受け止めと今後の取組について(来年度に向けて)

1 アンケートより

- ・ 今年度も職員、保護者ともほぼどの項目も、A(適切だと思われる。)B(概ね適切だと思われる。)であった。子どもたちをまんなかにして園と保護者が連携して取り組んでいる成果だと考える。
- ・ 研究や研修において常に情報を共有し、何でも相談できる職員関係ができています。日頃の保育、園児、幼児教室に通う子どもなどみんなによりよくしていこうという意欲にあふれている。指導案審議や研究・研修のまとめに向けた検討なども率直に意見交換し合い、より良いものに高めていく努力が保育や特別支援の質の向上につながっていると考える。来年度も継続していきたい。
- ・ 保護者連携において、園の教育方針や子育てで大切にしてほしいこと、今の園児の実態や必要と考えることなどさらに理解啓発に努めていく必要がある。わかりやすく伝えていく工夫など検討していきたい。
- ・ 環境面においては、現状を把握し今ある環境の中で園児の安全を最優先にしながら、経験させたい動きのための環境(ジャンプタッチ、ゴムゴムコース、一本橋、巧技台、マット、けんば、ロケットシューターなど)の設置など工夫した環境づくりに取り組むことができた。継続していきたい。
- ・ 少人数のため一人一人の職員の業務負担は大きく、現在の職員の資質と連携によって質の高い幼稚園教育が維持できている状態であり、可能な限り園務分掌の削減や業務負担の軽減、働き方改革を進めていく必要がある。子ども子育て部と連携しながら進めていきたい。

2 その他

・ 学級編成について

来年度は、3歳児が1名、4歳児が1名、5歳児が6名、合計8名、ひまわり組、さくら組・いちご組の混合学級1クラスの予定である。今年度同様、混合学級指導員を適切に活用し、担任が連携をとりながら対応できるようにしていきたい。

・ 親子遠足について

来年度も今年度同様、春(6月上旬ごろ)に親子遠足を秋に子どもたちだけの徒歩遠足を実施することを計画している。春は、集団生活に不慣れなお子さんにも園外での普段経験できないことが経験でき、秋以降は子どもだけでの経験を積みせたいと考えている。詳しくは、新年度お知らせしたい。

・ 幼稚園の再編について(昨年度から継続)

令和9年度末をもって大庭幼稚園は、古志原幼稚園・竹矢幼稚園(休園中)と再編され、新しい幼稚園になる。施設は、古志原幼稚園を使用する。園名や園歌、園章は今後検討される予定である。ただし、在籍園児数が、3名未満または2家庭になった場合は、再編を待たずに「休園」になる可能性がある。休園も含め再編後の大庭地区の幼児教育の在り方や特別支援幼児教室の確保など早急に検討し方向性を出してもらおうよう引き続き市当局と協議していきたい。